



市民公開講座

いつまでも自分らしく

日時

2025年10月26日

13:20 ~ 15:45
(12:50受付開始)

場所

香取市小見川市民センターいぶき館多目的ホール
香取市羽根川38番地 JR小見川駅から徒歩10分
駐車場有(小見川支所、香取おみがわ医療センター)

☒ 参加無料

☒ 事前申込不要



「認知症の予防と共生へのヒント」

司会 看護部長 篠塚 信子

講演 第1部 「認知症 その予防と最近の治療」

講演進行：内科医師 佐久間 勉、副医療支援部長 木戸岡 智志

今日から始める！ 認知症予防体操と暮らしの工夫

作業療法士

穴澤 光

お口の健康づくりでできる認知症予防

歯科衛生士

片山 裕環

認知症について ～診断と早期発見の重要性～

医師

大橋 健二

講演 第2部 「地域で支える認知症 ～共生へのヒント～」

講演進行：副院長 大橋 健二、副看護部長 藤原 浩美

もの忘れ外来の役割と受診のすすめ
～認知症とともに生きる地域づくりのために～

看護師

小久保 香苗

認知症初期集中支援チームとは

看護師

菅谷 夏絵

もの忘れ外来開設後の共生へのヒント

医師

佐久間 勉



大橋 健二

副院長
医学博士
認知症サポート医
日本神経学会指導医・専門医
日本内科学会認定医
日本自律神経学会評議員



佐久間 勉

医学博士
認知症サポート医
肺がんCT検診認定医師
元 金沢医科大学呼吸器外科学教授

● 認知症について ～診断と早期発見の重要性～ 大橋 健二

人口の高齢化に伴い、もの忘れを感じる人が増加しています。

もの忘れの最大の原因はアルツハイマー型認知症とされています。近年、アルツハイマー型認知症のごく早期の状態である軽度認知障害に対して、病態の進行を遅らせる可能性がある薬剤が発売されて注目を集めています。

また、認知症と類似の症状であるものの、内科疾患や脳外科疾患によって引き起こされている病態もあります。前者は早期発見によってその進行を遅らせる、あるいは周囲の理解や生活環境を整備することで改善でき、後者は、適切な治療により病気の進行を抑制、場合によっては改善する可能性もあります。

本講演では、認知症の鑑別診断とその検査、疾患の概要、そして最近の治療について講演します。



多職種による
認知症サポートチーム

● もの忘れ外来開設後の共生へのヒント 佐久間 勉

香取市では、人口の高齢化に対して諸施策が検討・実施されていますが、その中でも認知症対策は誰もが向き合ふべき課題といえます。香取おみがわ医療センターでは、一昨年から、もの忘れ外来を開設して、その診断と治療だけでなく、地域での生活支援を重視してきました。

本講演では、認知症の現状と課題を踏まえて、その早期発見の重要性や医療・介護における多職種連携の必要性、そして市民の誰もが「担い手」として活躍する意義に焦点を当てていきます。

“認知症サポーター力”の発揮や認知症予防のヒントも紹介し、住み慣れた香取市において、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を考える機会としたいと思います。

● 今日から始める！ 認知症予防体操と暮らしの工夫

リハビリテーション科 作業療法士
主任技師 穴澤 光



「もしかして？」と不安に思うことはありませんか？認知症について一緒に学びましょう！

作業療法士が認知症の基礎知識から簡単な予防体操、日々の暮らしで気を付けたいポイントまでを解説します。ぜひご参加ください！

● お口の健康づくりでできる認知症予防

放射線科 歯科衛生士
主任技師 片山 裕環



近年、お口の健康が全身の病気と深く関わっていることがわかってきており、認知症もその中のひとつです。

認知症予防のためにできるお口の健康づくりと毎日の生活にすぐ取り入れられる簡単なケアをご紹介します。

● もの忘れ外来の役割と受診のすすめ ～認知症とともに生きる地域づくりのために～

西病棟看護科
副看護師長 小久保 香苗



年を重ねると、もの忘れが増えるのは自然なことです。でも、病気としての“認知症”によるもの忘れには早めの気付きと対応が大切です。

認知症とともに地域で安心して暮らすためのヒントを一緒に考えていきましょう。

● 認知症初期集中支援チームとは

地域医療支援室
看護師 菅谷 夏絵



香取市の委託事業として認知症初期集中支援チームの活動があり、認知症が疑われる人に対して認知症サポート医を含む多職種による早期支援を行っています。

活動内容をご紹介します、身近な相談窓口のひとつになればと思います。